

2017年度 学会認定申請に関する自己チェックリスト

学会認定医師

- 2010年（平成22年）またはそれ以前に医師免許取得
- 睡眠医療2年間以上の臨床経験
- 2015年（平成27年）3月31日までに学会に入会（会員歴3年以上）
- 学術集会^{※1}への3回以上の参加
- 睡眠医療の幅広い知識、診断能力、睡眠ポリグラフ検査の実施経験^{※2}と判読能力
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

学会認定歯科医師

- 2010年（平成22年）またはそれ以前に歯科医師免許取得
- 睡眠関連医療^{※3}2年間以上の臨床経験
- 2015年（平成27年）3月31日までに学会に入会（会員歴3年以上）
- 学術集会^{※1}への3回以上の参加
- 睡眠医療の幅広い知識、診断能力、睡眠ポリグラフ検査の実施経験^{※2}と判読能力
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

学会認定検査技師

- 2015年（平成27年）またはそれ以前に臨床検査技師等免許取得
- 睡眠ポリグラフ検査等1年間以上の臨床経験
- 2017年（平成29年）3月31日までに学会入会者（会員歴1年以上）
- 学術集会^{※1}への1回以上、睡眠医療・技術セミナー1～2回の参加
- 睡眠ポリグラフ検査^{※4}を実施および判読する知識と技能^{※2}
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

※1 日本睡眠学会および関連国際的睡眠学会定期学術集会。日本睡眠学会睡眠医療・技術セミナーの参加も含む

※2 監視下（アテンド）睡眠ポリグラフ検査の経験（研修でも可）

※3 睡眠時無呼吸症候群、歯ぎしりおよび関連する睡眠障害の診療

※4 反復睡眠潜時検査（MSLT）を含む

注意事項

1. 学会認定医師、学会認定歯科医師、学会認定検査技師のいずれの認定試験においても、求められる医学的知識ならびに医療技術水準の詳細については、学会ホームページの細則をご確認ください。
2. 症例報告書の作成は、細則に準じてご作成ください。学会ホームページに模範例（見本）を掲示していますが、そのまま引用した場合は不合格と見なされます。
3. 経歴、学会員歴は、2017年3月31日現在を基準とします。